



ひかりのこ

2023年度 **3月号**

日本キリスト教団
名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)
 名古屋市西区天神山3-7 TEL.052-531-1820
 ホームページ: [名古屋新生教会](#) 検索

2月の後半くらいから「三寒四温」の頃と言われますが、このところは初夏に近い温かさと、真冬並みの寒さとが「日替わり」のようにやって来て、季節が激しく入れ替わっていますね。季節感がなくなっているのが“当たり前”になっていくのかもしれないですね。それでも3月、草木は春を迎える準備をしています。私たちにとっても、年度の終わり、そして新しい年度を迎えます。本格的な“春”に向かって、新たな気持ちを整えていきましょう。

今月の礼拝 単元8: 十字架への道①

📖…お話 🎵…奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4~中高生) 9:00 ~ 9:30	プレイ・タイム (小学生/中高生) 9:35 ~ 9:55	こどもれいはい (幼児~小3) 10:00 ~ 10:20
3月3日	最後の晩餐	マタイ福音書 26:14-30	📖 武岡 基 🎵 武岡路実	新生保育園 卒園祝いカード	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
3月10日	ゲツセマネの祈り	マタイ福音書 26:36-56	📖 安達正樹 ^{牧師} 🎵 武岡路実	新生保育園 卒園祝いカード	📖 安達正樹 ^{牧師} 🎵 武岡路実
3月17日	裁判	マタイ福音書 26:57-68、27:1-26	📖 堤 砂里奈 🎵 武岡路実	たまごカード	📖 武岡 基 🎵 堤 砂里奈
3月24日 進級式	十字架	マタイ福音書 27:27-61	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ	進級式 たまごカード	📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
3月31日 イースター	復活	マタイ福音書 37:62-28:15	📖 安達正樹 ^{牧師} 🎵 堤 砂里奈	たまご探し	📖 武岡路実 🎵 堤 砂里奈

進級式 3月24日(日) ティーンズ礼拝後/こどもれいはい後 それぞれ礼拝堂にて

幼稚園や保育園、小学校・中学校・高校を卒業するお友だち、また、みなさんひとり一人も4月から1つずつ進級することをお祝いし、新しい学校、新しい学年やクラスでもよき生活を送られるようにお祈りのときをもちます。



 ティーンズ礼拝 (小4年~中高生) 9:00~
 「たまご探し」 9:30~
 こどもれいはい (幼児~小3年) 10:00~
教会に来ていないお友だちも誘って、ぜひ参加してください!



今月の聖句

「これは、あなたがたのために^{あた}与えられるわたしの^{からだ}体である。
 わたしの^{きねん}記念としてこのように^{おこな}行いなさい。」 (ヨハネ15:4)

今月のさんびか♪

こどもさんびか 23 (あのよる しゅイエスが)



イースターは、十字架にかけられて亡くなったイエスさまが、その3日目に復活したことを祝う「復活日・復活祭」です。クリスマスは12月25日と決まっていますが、このイースターは日にちが決まっていない移動祝日です。今年は3月31日(日)、去年は4月9日(日)でしたので、今年度はイースターが2回あるのです。日にちがどのように決められるかということ、「春分の日を過ぎて、最初の満月の次の日曜日」ということです。早い年では3月22日、遅い年では4月25日、この間にある日曜日のいずれかにあたります。そのため、何年かに一度は年度内に2回、4月・3月にイースターがやってきます。

今月の礼拝では、イースターでのイエスさまの復活に向けて、イエスさまの十字架への歩みを学んでいきます。

今月のさんびか「あのよる しゅイエスが」は、イングランドの伝承的な旋律で、1893年に譜面化され、1906年に出版された歌集に収録されました。その際は、「重荷を負う者」と組み合わせられ、『讃美歌21』432にも収録されました。

詞は、『こどもさんびか改訂版』のために讃美歌委員会によって作られたもので、1節では「最後の晩餐」、2節は「復活後のイエスさまがガリラヤ湖畔に現れた場面」、3節は「エマオへの道のできごと」を歌っています。この詞では聖餐式におけるパンの位置づけだけではなく、より広く、パンを分かち合うことを、苦しみを受け、死んで、復活したイエスさまと共に食事をする事としてとらえています。そして、私たちが食事を共にするときは、今も、いつでも、イエスさまが共にいてくださり、パンを手に取り、感謝して、裂いて、分け合っていることを感じるようにと招いています。



おたんじょうびおめでとう🎂

3月生まれのお友だち

「たまご」と「うさぎ」

クリスマスツリーやリースがクリスマスのシンボルであるように、イースターにもシンボルがあります。「イースターエッグ」と「イースターうさぎ(バニー)」です。玉子(卵)は生命の始まりの象徴であり、殻の中にある時間を経て、殻を割って生まれてくる様子が、イエスさまの復活を表しています。うさぎは多産であることから、豊穰(農作物が豊かに実ること)や繁栄を象徴しています。ドイツでは古くから、野ウサギが子どもたちにイースターエッグを運んでくるといふ言い伝えがあり、今ではキリスト教の国々ではこの言い伝えが広まっています。



名古屋新生教会では、毎年「たまご探し」が恒例となっています。「たまご探し」とは言っても、保育園と教会の園庭に隠された“たまご型のカード”を見つけ出すゲームです。本来の「エッグハント」は、芝生の広場や家庭の庭に本物のゆで玉子や生玉子をたくさん隠し、それを見つけるイースターの子ども向けイベントです。アメリカなどでは教会の広い芝生の庭や公園で行い、見つけた数を競うこともあります。